

2 概要

何がニーズなのか

HIVに関連するニーズはいくつもあります。たとえば：

- ・公衆衛生の専門家は、特定のコミュニティや地域でのHIV感染分布に注目するでしょう。
- ・医療や福祉サービスの提供者は、地域レベルでのサービスの必要性に焦点を当てるでしょう。
- ・HIV陽性者は、日々ウイルスと向き合う現実や、それに関わる問題に目を向けるでしょう。

上の例は、それぞれのニーズであるといえますが、ニーズの持つ意味は実に多様なので混乱をきたすこともあります。

よくある混乱は、個人的なニーズと、それを満たすための手段とがズレていることです。たとえば、疲労困憊の人は「眠りたい」と言う場合もあれば、「睡眠薬を欲しい」と言う場合もあります。私たちは「ニーズ」という言葉を、この例のように個人的に必要なことをあらわす時にも用いますし、それを満たすための手段をあらわす時にも用います。しかし、疲労回復にはたとえばリラクゼーション療法など様々な手段があります。²「この人には睡眠薬が必要だ」とは断定しにくいのです。

ニーズとサービスの間で生じる混乱を避けるた

めの方法は、様々に存在します。³ このガイドにおいては、どのような手段が「必要」だったのかということよりも、むしろ、もっと基本的な、HIV陽性者が何を必要と感じているのかに焦点を当てています。HIV陽性者の経験や観点を中心においてニーズについて考えます。

ニーズと問題

個人の抱える欠如や不足は、その人にとって深刻な問題となるのでなければ重要なニーズにはなりません。これには個人差が色濃く反映されます。たとえば、あるHIV陽性者は子どもや家族に対する強いニーズがある一方、他のHIV陽性者は別の違ったニーズを持っています。ニーズによっては個人の持つ優先順位に左右され、その人の目標や期待が変われば変わるでしょう。⁴ 一方、安全な住居や栄養などは普遍的なニーズとなります。

ニーズを見極める際、個人的な目標はとかく軽視されがちです。併用療法が導入されて治療が進んだ結果、HIV陽性者のニーズはおおいに減少したとみなす人が少なくありません。これはHIV陽性者が直面する問題を矮小化してしまうだけでなく、治療が進んだ結果、目標や期待が上がることにより生じる新たなニーズを無視してしまうことにもなるのです。⁵

3章ではHIV陽性者が生活する上で重要な項目をあげ、それぞれについてHIV陽性者が抱える

ニーズを説明します（表1参照）。当然のことながら、HIV陽性者にとって重要なことの多くは、私たちすべての日常生活においても重要です。

HIV陽性者のニーズで特徴的なのは、そのニーズ自体ではなく、ニーズを生み出す問題にあります。4章では現代のイギリスに住むHIV陽性者が直面する主要な問題や障壁を説明します（表1参照）。ニーズと問題は複雑に絡み合っています。様々な問題があらゆるニーズに影響を与え、またあらゆる問題が様々なニーズに影響を与えるのです。

表1では、さらに5つの「派生するニーズ」をあげています。これは生きるために必要というよりは、基本的なニーズを満たすために必要となるものです。健康や福祉という基本的なニーズを満たすためにサービスや医療を利用するわけですが、そうするためには自信や知識やスキルが必要になるのです。

HIV陽性者はどれくらいニーズが多いのか？

このガイドでは、ニーズについて前向きで肯定的な面に焦点を当て、関連する問題についても同様に扱っていますが、全体的にはネガティブな印象が強いかもしれません。

しかし、HIV陽性者は、彼らは悲惨に違いないという世間のイメージと闘ってきました。このことを忘れてはいけません。HIV陽性者は様々な問題に直面してもなお、あらゆるチャンスを取り入れて日々生活しているのです。⁶

このガイドは、2000年にイギリスで行われた全国調査「あなたには何が必要か？」にもとづいてニーズを分析しています。⁷ 調査対象者の12人に1人は、何のニーズもあげませんでした。しかし一方では30%の回答者が8から16の多岐にわたるニーズがあると回答しました。当たり前のことですが、上手に適応している人もいれば、複数のニーズを抱える人もいます。